

親学推進協力企業制度

名古屋市では子どもにとって親はどうあるべきかを考え、
子どもとともに親として成長する楽しさなどについて学ぼうとすることを「**親学**」と呼んでいます。

子どもたちの健やかな成長を

企業から

応援してみませんか？

親学推進協力企業制度

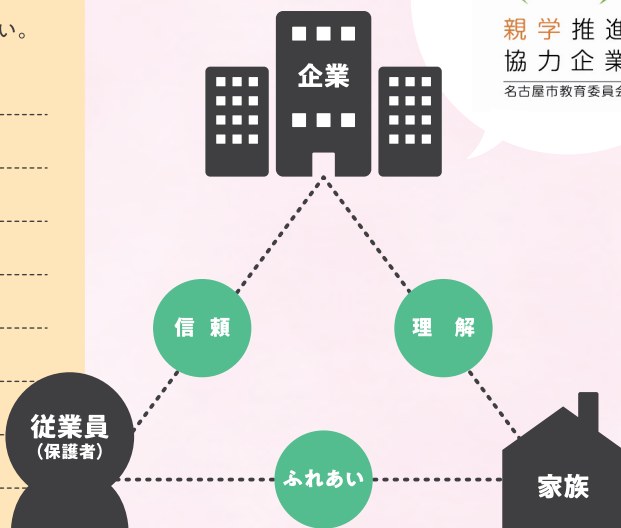
「親学」の推進に理解・協力をいただける企業(団体)の登録制度。

登録企業(団体)には、保護者である従業員が「親学」と向き合う機会を提供していただき、
教育委員会は講師派遣などの支援を行います。

アクションプラン8項目

下記の8項目のうち、2つ以上の取り組みを選んで登録してください。

- ① 親学を学ぼう！
- ② 親子で体験しよう！
- ③ 学校へ行こう！
- ④ 家族一緒に食事をしよう！
- ⑤ 子どもの記念日に本を贈ろう！
- ⑥ 地域の行事に親子で参加しよう！
- ⑦ 子どもに仕事を見せよう！
- ⑧ 企業からの独自提案



ご登録いただいた企業への支援

- 名古屋市のホームページに登録企業名を掲載するなど、各種媒体でご紹介します
- 登録企業が実施する家庭教育講座や講演会へ講師を無料で派遣します
- 家庭教育に資する事業を実施する場合に市内の各区生涯学習センターの優先確保及び使用料の減免を行います
- 観光・文化施設の優待割引券を配布します

お問い合わせ

名古屋市教育委員会生涯学習部生涯学習課

〒460-8508 愛知県名古屋市中区三の丸三丁目1番1号 TEL:052-972-3253 FAX: 052-972-4178

E-Mail: a3253@kyoiku.city.nagoya.lg.jp



制度について
詳しく知りたい方は
こちらから！

親学の取り組みを始めるにあたって、どんな考え方で、何から実施すれば良いのか、なかなか見えてこない企業・団体の方も多いと思います。そんな方々に参考にしていただけるよう、発達障害やその他の障害のある児童を対象とした療育園などを運営する、株式会社Selコーポレーションの福井さんと河人さんにお話を伺いました。

家族のきずなを大切にしながら、安心して働ける環境を実現



代表取締役 **福井 志保**さん

——はじめに、親学のことを知って、取り組みを始めたときのことを教えてください。

福井さん(以下、敬称略) 私がこの会社を立ち上げたときから、職員の皆さんには「家族第一」で働いてほしいという思いがあったので親学の考えには深く共感しましたし、無理なく取り入れることができました。

——ではまず、特に大きな行事である「セルコボ祭」について教えてください。

福井 当園の夏の最大の行事です。もともとは、開園した際に近隣の方々へのご挨拶の場として開いたのがきっかけで始まりました。そんな背景もあって、園児や職員とその家族はもちろん、地域の皆さんにもご参加いただくのが特徴です。年によって、地元の小中学校の和太鼓部やジャズオーケストラ部が演奏に来てくれたり、キッチンカーでマルシェを出したり、色々な催しのなかで、地元の方々とかかわり合う大切な場になっています。



職員の家族に加えて地域の方も参加し、盛大に行われるセルコボ祭。



河人 理奈さん

——親学の柱の一つである「地域のきずな」の取り組みとして、とてもすばらしいと思います。

福井 昨年は感染症対策のため、規模を縮小したの開催となりましたが、それでも設営などの準備には近所の方々にご協力いただけて、本当にありがたかったですね。

——ほかには、どんな取り組みをされていますか？

福井 土曜日など、お子さんがお休みの日に開かれる園の行事や職員会議のときは、職員の子連れ出勤を可能にしています。

——お子さんがお休みで、他のご家族の方も土曜日にお仕事されている職員さんは助かりますね。

河人さん(以下、敬称略) 私自身、小さい子どもがいるので「家族第一」という方針に魅力を感じて当園への入社を決めたのですが、行事や会議への子連れ参加制度には驚きました。最初は大変そうに思えたのですが、職員同士でお互いの子どもを見守れるので安心して働けますね。子ども



園児たちに混じって、職員のお子さんもお昼ごはん。安心してお子さんを連れてこれるのも、園内の信頼関係あってこそ。

たち同士も仲良くなって、職場に来るのを楽しみにしてくれています。

——こうした取り組みを通して、会社として変わったことはありますか？

福井 まずは自分の家族を第一にする、という考え方が、職員にも根付いてきましたね。

例えば、お子さんが熱を出したときも、お互いの家庭についての理解があるので、職員同士が協力して、気兼ねなく休んでもらうことができています。

河人 子どもが複数人いると、保育園や学校の行事が近い時期に重なることも多いんですが、どれも出られているのでとても助かっています。職員同士がお互いの子どもを直接知っているので、気持ちよく「休んでいいよ」と言える雰囲気できていますね。

福井 これも、現場の職員たちが進んで協力し合える信頼関係を築いたり、工夫してシフトを組んだりしてくれている成果です。

——親学の取り組みを通した、今後の展望を聞かせてください。

福井 家族みんなで食事に行くきっかけになればという思いから、クオカードの配布など、「食育」という観点での取り組みを考えています。

そして、職員のお子さんが、「大きくなったら自分もこの園で働きたい」と言ってもらえるような職場を目指したいですね。家族構成や年齢の変化も視野に入れた取り組みも考えていきたいと思っています。



株式会社Selコーポレーション

〒457-0074

名古屋市南区本地通1-6-1

TEL: 052-693-6098

FAX: 052-693-6099

HP: http://sel_corporation.nagoya/